

令和8年度  
事業計画及び収支予算

一般財団法人  
長岡花火財団

—目 次—

1. 令和8年度事業計画	1
2. 令和8年度収支予算	7

# 令和8年度 事業計画

一般財団法人 長岡花火財団

2025長岡まつり大花火大会は、土曜日・日曜日の週末開催となったが、安全対策の徹底を図り、多くのお客様を無事故でお迎えすることができた。

2026長岡まつり大花火大会も、日曜日・月曜日と週末を含む開催となり、昨年同様、多くの来場が見込まれる。加えて、昨今の30度を優に超える真夏日の熱中症対策として、指定席化を進め、来場者が余裕を持って会場にお越しいただけるように、長岡まつり大花火大会を開催する。

2026年は市政120周年。また長岡で正三尺玉の打上げが成功してから100年。関係機関と連携し、先人が築いてきた歴史に感謝し、戦災復興祭の翌年から続く「長岡花火」の意義を、当財団の4本柱のもと、推進していく。

## 【事業の4本柱】

- ～来場者が楽しみ、喜び、感動できる花火大会の運営～  
さらなる満足度の向上と無事故の花火大会
- 長岡の誇りを伝える活動の展開
- 長岡花火ブランドの全国・世界発信
- 組織力の強化

- ～来場者が楽しみ、喜び、感動できる花火大会の運営～  
さらなる満足度の向上と無事故の花火大会

「戦災・震災からの復興・慰霊の想いを込めた花火大会の運営」「お客様の安全を第一とした絶対無事故・来場者目線での花火大会の運営」を目指し、長岡まつり大花火大会を実施していくとともに、さらに輝く花火大会への深化を目指す。

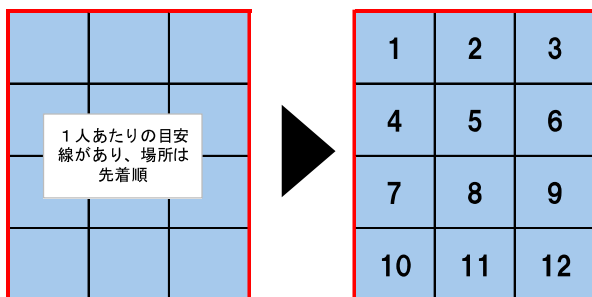
### (1) より魅力のある大花火大会のプログラム編成

- 長生橋の工事の目途が立ったことから、ナイアガラを実施する。
- 大型花火の打上げを長く希望しているスポンサー、周年の打上げを希望するスポンサー、打上げを辞退するスポンサーを調整し、全体の打上げ数を1日あたり40台とする。またプログラム編成も工夫し、魅力あり、かつ分散退場も考慮したプログラム編成を行う。

## (2) 観覧席等の最適化による満足度向上

全席有料化後も、無料席があった当時から設置されていた仮設トイレや飲食テントの位置は変わっておらず、花火観覧の障害となっている箇所があるため、これらに移設・集約し、お客様の満足度向上を高める。

- 会場の最適化による収容人数の増（席の増設・約 10,000 人／日の増）
- A 会場にテーブル席を新設
- ブロック指定席の完全指定席化へ（AB 会場共通）



- 三尺玉ブロック指定席の堤防下をイス席へ（指定席化）
- フェニックス観覧席の半分をイス席へ（指定席化）
- 北エリア席の細分化
- 障がい者席を両岸に新設（さいわいプラザは廃止）
- 高校生応援席を両岸へ新設（エリア席）
- トイレ・飲食テントの集約化

※観覧の障害となっている配置の変更・集約化による満足度向上を目指す

## (3) 安全対策の徹底

- フリーエリア及び場所取り待機列を管理するため夜間警備を強化する。
- 分散退場を促進するため終了時間を延長する（15分程度）。

打上時刻（案）	内 容
20:45	復興祈願花火フェニックス
21:00	正三尺玉
21:25	米百俵花火・尺玉100連発

※長生橋については、ナイアガラ再開に伴い、歩道・車道ともに通行規制を再開する（長生橋立止り観覧警備の廃止・配置転換有）

- 大手大橋の規制時間を見直し、ゲートの乗り越え等転倒事故防止を実施する。

内 容	変更前	変更（案）
大手大橋 規制開始	18:50	18:30
〃 規制解除（歩道）	22:00	22:15
〃 規制解除（車道）	22:30	22:45

- ドローンメッセージによる帰り客の分散対策を継続実施（検討中）。

#### (4) 交通対策の推進

- 迷惑駐車、路上駐車防止重点地区を設置、巡回警備を実施する。【新規】
- 柏崎駅周辺駐車場 300～500 台程度を確保し、事前予約制パークアンドレールライドを実施する。【新規】
- 規制エリア内の民間駐車場等も「軒先パーキング」を利活用する【新規】
- 有料観覧席増加に伴い、公式駐車場も 500～1,000 台増加を目指す。
- ライドシェア実施に向けて検討・調整を継続検討する。
- 規制エリア世帯に発行する除外車証について、歩行者と車両の事故を未然に防ぐため、発行基準を強化する。【新規】

#### (5) 継続的なマナー啓発の実施 ～ 世界一マナーのいい花火大会へ ～

長岡まつり大花火大会ファンの全ての皆様が、花火大会に向け、そして大会当日にも、お互いを思いやり、気づき、行動し、さらに輝く花火大会への深化を目指す「NAGAOKA GOOD ACTION PROJECT」と称する継続的なマナー啓発を実施します。

##### 【共通ロゴ】



##### 【コンセプト】

長岡花火に込められた想いや歴史を知り、ゆずり合い・ルールを守るなどの「グッドアクション！」を、ご来場いただいたお客様一人ひとり自らが大好きな長岡花火を守るため、世界に誇れるマナー文化を育み、未来へつなげる花火大会を作り続けていく。

世界一マナーのいい花火大会へ。

**グッドアクション!**

世界一マナーのいい花火大会を目指して

一人ひとりができることを。

##### 【事業展開案】

- ・モラル、ネガティブキャンペーン事業
- ・場所取りや雑踏事故防止、分散退場など安全対策事業
- ・路上駐車防止など交通対策事業 など

#### (6) チケット販売（転売防止、インバウンド対応）

- 昨年に引き続きチケットは記名式とし、公式再販売の開設や大手フリマサイト、新潟県警などと連携し、転売防止を図る。

- 一部の席で、電子チケットのひとつであり、取引の経緯がわかる「NFT チケット」を試験的に販売し、転売対策としての電子チケットの有効性や課題を整理する。【新規】
- インバウンド向けの席は、2025 年の2倍となる1日あたり1,000席を販売。当日のチケット受け渡し窓口だけでなく、インバウンド専用の問い合わせセンターを4月から8月末まで開設。【新規】

## ○ 長岡の誇りを伝える活動の展開

2026年は市政120周年、そして正三尺玉が成功して100年でもあることから、行政や各種関係団体と連携し「長岡花火」の発信事業を行う。また次世代を担う若者が、長岡花火を深く心に刻み「ふるさと愛」を育む場を創出し、地元への移住、定住に寄与していく。

### (1) 長岡花火と教育の連携

- 人づくりはまちづくりとする「米百俵の精神」のもと、長岡の未来を担う子どもたちがより深く長岡への郷土愛と長岡で育った誇りを感じてもらうことを目的に、長岡まつり大花火大会で、友人同士で花火観覧できる「高校生応援席」を設置する。【新規】

### (2) 関係機関と連携した長岡花火の発信

- 市政120周年そして正三尺玉の打上げ成功から100年など、節目の年度であることから、関係機関と連携し、長岡花火を通じた発信事業を行う。【新規】
- NPO ネットワーク・フェニックスと連携し、フェニックス観覧席の運営、募金活動などを行う中で、長岡花火に率先して協力してもらえるボランティアの育成を図る。
- 長岡花火伝承会と連携して、企業や団体などに対しても講演、講義などを積極的に実施する。
- 「道の駅ながおか花火館」のドームシアターで放映する映像の更新をはじめ、魅力ある情報発信拠点であり続けられるよう、長岡市及び指定管理者と連携し取り組む。また、アオーレ長岡のシアターとも連携し、年間を通じた長岡花火の魅力・誇りを伝える拠点として活用する。
- JC や NPO ネットワーク・フェニックス等と市内小中学校への長岡花火に関する課外授業等の実施や、普及啓発活動に必要な花火動画の撮影、フェニックス花火の募金業務（チラシ、ポスター、お礼はがき等の作成）を行う。

## ○ 長岡花火ブランドの全国・世界発信

地元ケーブルテレビや、YouTube を使って長岡まつり大花火大会のライブ配信を行い、会場にお越しできなかった方も花火大会を感じることができる環境を整える。また年間を通じた「長岡花火」の打ち上げを行うことで、長岡花火の意義の発信、ブランド力の向上、さらなる長岡花火ファンの獲得を図る。

### (1) 「長岡花火」の打ち上げによる発信

- 長岡まつり大花火大会だけでなく、年間を通じた花火の打ち上げを行い、長岡花火のプロモーションを推進する。

	事業名	開催日	場所
春	ながおか米百俵フェス	5/23(土)・24(日)	丘陵公園
春	ローズファンタジー	6月中旬	※ローズは支援事業
夏	長岡まつり大花火大会	8/2(日)・3(月)	信濃川河川敷
秋	長岡花火ハロウィンファンタジー	10月下旬	丘陵公園
冬	長岡花火～雪花火～	2/20(土)	信濃川河川敷

### (2) 長岡市とホノルル市との平和交流に連携した「長岡花火」

- 長岡市の姉妹都市ホノルルで開催されるホノルルフェスティバルの最終日において長岡花火の打ち上げを行う。

日時：令和9年3月中旬 会場：ホノルル市ワイキキビーチ

### (3) 知的財産の有効活用

- 当財団所有の商標を有効活用し、長岡花火ブランドの知名度向上を図る。(民間事業者の商品開発への協力、長岡花火公式グッズの製作など)
- 商標の意義を広める活動を推進し、地域全体で長岡花火ブランドを守り、高める気運を醸成する。

### (4) 持続可能な花火大会運営への取組み

- 煙やゴミの少ない花火玉や環境に配慮した花火玉の開発・研究に継続取組み。

## ○ 組織力の強化

刻々と変化する社会情勢、お客様のニーズ等に対応しながら、経営基盤の強化、リスク対応、人材育成の3つの力を強化し、適切に法人を運営していく。

### (1) 中期計画の検討、作成

- 財団設立の根底である答申書の「4本柱」に基づき各事業を推進しているが、9年目を迎えることから、過去の振り返りを行うとともに、現在の社会情勢に合わせた計画の検討及び作成を行う。【新規】

## (2) 長岡花火応援企業・団体との連携強化

- 長岡花火オフィシャルパートナー企業などとの連携強化により、財団の運営体制の強化を図るとともに、日々の企業活動でも長岡花火を応援していただくことで、地域全体で長岡花火を盛り立ててもらおう機運醸成を図る。

## (3) 災害等のリスクへの対応

- 風水害等の不測の事態に備え「災害等対策基金」への積み立てを行う。

## (4) 保険への加入（事故リスク対応）

- 大花火大会の準備期間を対象とした損害賠償保険
- 大規模花火大会に対応した損害賠償保険
- 大花火大会の中止・延期に備えた興業中止保険
- 役員賠償責任保険団体制度
- 煙火消費が原因による人的・物的損害に対応する煙火消費保険
- 花火大会従事スタッフ及び清掃ボランティア対象の傷害保険

## (5) 事務所拠点の強化

- 河川敷に近い山田町地内に事務所拠点を移転したことで、多様化するニーズに迅速に対応できる体制を整える。
- 多くの問い合わせに対応するため、職員の各種ハラスメント研修の実施等により職員のスキルアップを図る。また、繁忙期における窓口対応職員を増強し、集中するお客様対応等への負担軽減を図る。

## 収支予算書

令和8年4月1日から令和9年3月31日まで

一般財団法人長岡花火財団

(単位：円)

科目	予算額	前年度予算額	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	[ 19,000 ]	[ 19,000 ]	[ 0 ]
基本財産受取利息	19,000	19,000	0
特定資産運用益	[ 1,210,000 ]	[ 20,000 ]	[ 1,190,000 ]
特定資産受取利息	1,210,000	20,000	1,190,000
事業収益	[ 1,573,291,000 ]	[ 1,430,068,000 ]	[ 143,223,000 ]
観覧席販売収益	1,465,240,000	1,294,134,000	171,106,000
駐車場協力金収益	93,230,000	111,008,000	△ 17,778,000
各種販売収益	7,300,000	9,905,000	△ 2,605,000
各種賦課金収益	21,000	21,000	0
業務委託料収益	7,500,000	15,000,000	△ 7,500,000
受取補助金等	[ 79,982,000 ]	[ 72,465,000 ]	[ 7,517,000 ]
受取長岡市派遣職員人件費補助金	79,982,000	72,465,000	7,517,000
その他補助金	0	0	0
受取寄付金	[ 1,560,000 ]	[ 2,460,000 ]	[ △ 900,000 ]
受取寄付金	1,560,000	2,460,000	△ 900,000
受取協賛金	[ 380,999,000 ]	[ 370,384,000 ]	[ 10,615,000 ]
受取現金協賛金	80,000,000	78,621,000	1,379,000
受取広告協賛金	3,200,000	4,200,000	△ 1,000,000
受取花火協賛金	276,055,000	265,450,000	10,605,000
受取フェニックス花火協賛金	14,579,000	15,153,000	△ 574,000
受取その他協賛金	7,165,000	6,960,000	205,000
雑収益	[ 859,000 ]	[ 475,000 ]	[ 384,000 ]
受取利息	220,000	22,000	198,000
雑収益	639,000	453,000	186,000
経常収益計	2,037,920,000	1,875,891,000	162,029,000
(2) 経常費用			
大会運営事業費	[ 1,661,548,000 ]	[ 1,486,950,000 ]	[ 174,598,000 ]
花火打上事業費	332,202,000	308,209,000	23,993,000
会場設営事業費	553,956,000	452,005,000	101,951,000
安全対策事業費	267,211,000	242,122,000	25,089,000
交通対策事業費	189,313,000	162,804,000	26,509,000
観覧席販売事業費	233,506,000	234,095,000	△ 589,000
寄付懇請事業費	15,521,000	26,330,000	△ 10,809,000
受入体制強化事業費	69,839,000	61,385,000	8,454,000
普及啓発事業費	[ 16,856,000 ]	[ 15,098,000 ]	[ 1,758,000 ]
普及啓発イベント事業費	5,000,000	5,000,000	0
伝承活動事業費	11,856,000	10,098,000	1,758,000
ブランド発信事業費	[ 125,294,000 ]	[ 124,919,000 ]	[ 375,000 ]
情報発信事業費	31,354,000	26,905,000	4,449,000
海外発信事業費	35,610,000	34,910,000	700,000
情報発信拠点事業費	18,130,000	19,626,000	△ 1,496,000
長岡花火打上プロモーション事業費	40,200,000	43,478,000	△ 3,278,000
その他プロモーション事業費	[ 27,898,000 ]	[ 18,978,000 ]	[ 8,920,000 ]
その他プロモーション事業費	27,898,000	18,978,000	8,920,000
管理費	[ 201,321,000 ]	[ 226,923,000 ]	[ △ 25,602,000 ]
人件費	101,653,000	96,094,000	5,559,000
施設費	25,257,000	38,907,000	△ 13,650,000
その他管理費	74,411,000	91,922,000	△ 17,511,000
経常費用計	2,032,917,000	1,872,868,000	160,049,000
評価損益等調整前当期経常増減額	5,003,000	3,023,000	1,980,000
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	5,003,000	3,023,000	1,980,000
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0

(2) 経常外費用			
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	5,003,000	3,023,000	1,980,000
一般正味財産期首残高	396,743,538	393,720,538	3,023,000
一般正味財産期末残高	401,746,538	396,743,538	5,003,000
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	35,000,000	35,000,000	0
指定正味財産期末残高	35,000,000	35,000,000	0
III 正味財産期末残高	436,746,538	431,743,538	5,003,000